

夢中で仲間と

踊っている時間。

からだは教養を

身につけている。

からだで学ぶって、

どういうことですか？

大橋先生、

教えてください。

教養科目の授業で

舞台作品をつくる。

プロを育成するためでも、

教員養成のためでもありません。この授業で

めざしているのは、学生たちからからだを通して得る感覚を

知ってもらうことです。夢中になってからだを

動かしているうちに、眠っていた身体意識は目を覚まします。

私はこの感覚を“からだがひらく”と呼んでいます。

知らないうちにまとっていた見えない鎧を脱ぎ捨てると、

からだだけでなく、こころも変わります。

本来の自分を知ると、他者の存在も見えてきて、

互いを感じながら自然なかかわりが増えていきます。

ケンカをしたり凹んだりすることもあてはまらしてあげよう。

しかし、その先にあるのは、共にあるもの同士にだけ

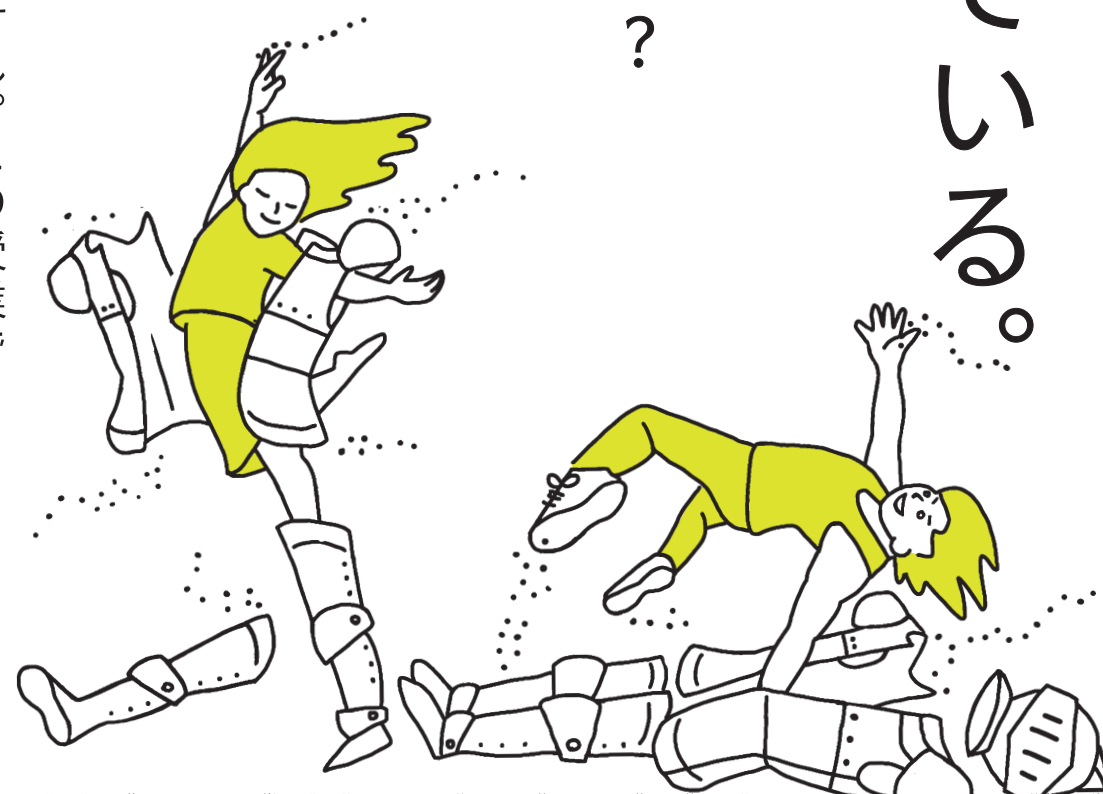
見えてくる世界。踊りは今を生きるものです。

上演が終われば、すぐに消えてなくなってしまう。

しかし、はかなくも愛しいその経験はからだの中に

残り、これからの日々を支えてくれるはず。

それはからだで身につけた教養なのです。



人間科学科
教授 大橋さつき



和光3分大学

9月・10月のオープンキャンパス

さっくり見学
13:00~16:00

9/21(土)・10/19(土)

10月AO入試

出願期限

~10/1(火)必着

試験日

10/6(日)

推薦制(公募制)入試

出願期間

10/24(木)~11/7(木)必着

試験日

11/16(土)
または17(日)

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学